

10/25 (金) 18時から 都内会場にて

薬剤耐性 (AMR) 対策に関する 海外自治体・国内自治体の好事例紹介



薬剤耐性プロジェクト Antimicrobial Resistance (AMR) Project

国際対話

「地域に根付いた市民主体のAMR対策の展開に向けて
- Antibiotic Smart Swedenの取組に学ぶ -」

International Dialogue

"Fostering Community and Citizen-led Approaches to AMR: Lessons from Antibiotic Smart Sweden"

2024. Oct 25 Fri

18:00-20:00 JST

Venue:
Global Business Hub Tokyo



日本医療政策機構は、2004年に設立され、民間・非営利・独立の医療政策シンクタンクとして患者・市民主体の医療政策の実現を目的に活動を重ねてまいりました。薬剤耐性 (AMR: Antimicrobial Resistance) に関する政策推進にも寄与すべく、マルチステークホルダーの議論喚起や政策提言活動にも取り組んでおります。

ご高尚の通り、AMRは公衆衛生の課題の1つです。2019年には495万人もの命がAMRの影響で失われており、このままAMR対策を実行しなければ、今後25年の間に世界で3900万人が命を落とすと予測されています。同時に、AMRは人間、動物、食品、環境にまたがる課題であり、効果的なAMR対策には人口動態、歴史、地場産業等の地域の特性が深く関わります。

そこで、本会合では、地域に根付いた市民主体のAMR対策を描くために、スウェーデンからタヌム市、日本からは福岡県、姫路市をお招きして、各自治体が行き届くAMR対策をお話いただきます。スウェーデンでは、「Antibiotic Smart Sweden」という取り組みが省庁横断的に立ち上がり、複数の自治体や地域が参画して、AMR対策における分野横断的な連携が進んでいます。日本のみならず、海外自治体のAMR対策先進事例をお伺いできる貴重な機会です。ぜひご参加ください。

主な登壇者：大崎 正悟 (姫路市 健康福祉局 保健医療部 地域医療課 課長)、平山 裕章 (福岡県 保健医療介護部 ワンヘルス総合推進課 課長)、Camilla Björn (Antibiotic Smart Sweden プロジェクトリーダー/スウェーデン国立研究所)、Patriq Fagerstedt (スウェーデン研究会議 ポリシーアドバイザー部門 シニアリサーチオフィサー)、Lillan Fahlstedt (タヌム市 公衆衛生戦略官)、Gunilla Skoog Ståhlgrén (Antibiotic Smart Sweden プロジェクトリーダー/スウェーデン公衆衛生庁)

【開催概要】 お申込みはこちらから <https://hgpi.form.kintoneapp.com/public/241025amr>

- ・日時：2024年10月25日 (金) 18:00-20:00
- ・会場：Global Business Hub Tokyo (〒100-0004 東京都千代田区大手町1-9-2 大手町フィナンシャルシティ グランキューブ3階) ※対面のみ (一部登壇者のみオンライン参加)
- ・言語：日本語・英語 (同時通訳有り)
- ・参加費：無料
- ・主催：日本医療政策機構、AMRアライアンス・ジャパン
- ・助成：スカンジナビア・ニッポン ササカワ財団
- ・後援：スウェーデン大使館
- ・プログラム：<https://hgpi.org/events/amr-20241025.html>

お問い合わせは info@hgpi.org まで
お願い申し上げます。